

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
恩納村	喜瀬武原地区	2021年3月22日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	60.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	45.1ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	11.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
(備考)	

2 対象地区の課題

喜瀬武原地区は現状40～60歳代の農業者が中心となっているが、5年後には70歳以上となる方が多く、後継者がいない農地もある。今後は耕作不能な農地が拡大する恐れがある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農業者の高齢化、後継者不足により、5年後には地区内の多くの農地で耕作不能が見込まれる。そのため、これらの農地は規模拡大の意向のある地区内の担い手へ農地の集積を促進する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

①農地の貸付け等の意向 貸付意向の農地を規模拡大の意向のある地区内の担い手及び担い手以外の農業者へ積極的に農地の貸し付けを行う。
②後継者の確保 今後の農地の後継者の確保が不透明な状況であるため、後継者の確保へ向けた取組を行う必要がある。新規に就農を希望する者を積極的に受け入れ、若い世代への営農指導や農業の魅力のアピールする機会を設け、後継者の育成を図り、後継者の確保を目指す。
③基盤整備への取組方針 5年後を見据え、農業所得向上を目指し、担い手にとっての農業収入安定化や高収益作物等の生産への取組やかん水施設整備等の基盤整備への取組を促進する。